

ETFの活用事例について

藤村 真紀子
中岡 寛晶

目 次

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. マイナス金利と債券ETF活用の拡大 | 4. スマートベータETFの活用方法 |
| 2. 機関投資家による債券ETF活用事例 | 5. 終わりに |
| 3. スマートベータETFが注目される背景 | |

米国では20年前から運用のツールとして活用されてきたETFであるが、わが国の機関投資家の間でもETFを資産運用に活用する例が急激に増加している。本稿では、グローバルの投資家がどのようにETFを利用しているのか具体的な例とともに紹介し、またグローバル投資家に加え日本の投資家の最先端の動きも併せて紹介していく。最近急激に機関投資家の注目を集め利用が拡大しているのは、債券ETFである。更に従来型の運用から一歩踏み込んだ、ファクターベースの株式投資、株式スマートベータETFの活用も拡大している。

1. マイナス金利と債券ETF活用の拡大

投資家からの問い合わせは、市場環境等の影響によって次々と内容が変わっていくものだが、ここ1～2年特に増えたのは債券ETFに関する問い合わせである。日本の投資家が長引く低金利環境

を背景により外債投資を拡大する過程で、外国債券ETFの種類豊富さと透明性及び使い勝手のよさが注目されている。特に2016年に本邦でもマイナス金利が導入されてからはその傾向が顕著であり、債券ETFへの投資金額は増加し、投資対象の幅も拡大している。



藤村 真紀子 (ふじむら まきこ)

ブラックロック・ジャパン(株) iシェアーズ事業部門 iシェアーズ事業部 ディレクター。2012年ブラックロック・ジャパンに債券戦略部のプロダクト・ストラテジストとして入社。16年3月から現職。96年東京大学経済学部経済学科卒業後、リーマン・ブラザーズ証券にて金利デリバティブ関連商品の開発及び機関投資家営業に従事。その後国内外証券会社にてストラクチャード商品の開発及び機関投資家営業に従事。



中岡 寛晶 (なかおか ひろあき)

ブラックロック・ジャパン(株) iシェアーズ事業部門 iシェアーズ事業部 ヴァイス・プレジデント。1996年一橋大学商学部卒業、13年ブラックロック・ジャパン入社。iシェアーズ事業部、ETFプロダクト・ストラテジスト。ブラックロック・ジャパン入社以前は、07年よりステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズにて、ETFの運営及びプロモーション全般に従事。それ以前はUFJ銀行市場部門で為替トレーディング業務を担当。